

## 令和3（2021）年度 後期授業評価アンケート分析報告書

### 1. 概要

2021年後期授業評価アンケートについて同年度前期の状況と比較した上で、講義形式（①全科目、②ゼミ+卒業論文）ごとに相関行列を用いて分析を行った。

#### ● 分析結果

- ・ 前期と比較し、興味関心、難易度、満足度に大きな変化はないが、学習時間は約6分（14%）増加している。
- ・ 興味関心は、項目の中で最も強く授業満足度との間に正の相関<sup>1</sup>があった（①.69, ②.70）。
- ・ 指示の適切性、双方向性、わかりやすさ、は授業満足度との間に、①②共に0.6以上の中程度の正の相関があった。
- ・ 難易度と授業満足度との間は、①②共に相関があるとはいえない。
- ・ 課題分量と授業満足度との間は、①②共に相関があるとはいえない。

#### ● 考察

- ・ 学生からの興味関心を引くような授業を行うことで、講義満足度を高めることができると考えられるので、FD研修会等で取り上げる機会を増やすことが重要である。
- ・ 指示の適切性やわかりやすさといった、丁寧さも授業を進めるうえで重要であると考えられるので、教員への協力を求めることが必要である。
- ・ 双方向性に関しては、in Campus 導入により様々な工夫が可能なので、そのノウハウを蓄積していく必要がある。
- ・ 難易度が高いからといって授業満足度が低くなるわけでは無いので、適切な難易度を維持することも学習効果という面から必要であると考えられる。
- ・ 課題分量が多いからと言って授業満足度が低くなるわけでは無いので、適切な分量を課すことも学習効果という面から必要であると考えられる。

### 2. 実施状況

- 2021年度後期授業評価アンケートは次の方法で実施された。
  - ・ 令和4年1月11日（火）～1月17日（月）
  - ・ 前期・通年開講授業科目（集中講義を含む）について実施
  - ・ 対面授業 i-compass を通じて実施し、オンデマンド講義は Microsoft Forms を用いて実施した。

---

<sup>1</sup> 相関係数の評価はギルフォードの規則に従う。0.2未満：相関なし、0.2-0.4：弱い相関、0.4-0.7：中程度の相関、0.7以上：強い相関

### 3. サンプルの状況

- 2021年後期開講科目数（春学期開講科目＋夏季集中講義・通年科目）は、388である。そのうち、履修者がゼロであるため科目を除外した結果、アンケートが実施できた科目は291である。
- これらの科目より最終的に回収した回答数は7,506である。

### 4. 主要項目の平均値と中央値

図表1 主要項目の推移<sup>2</sup>

年度	履修者数		回答率		興味関心		難易度		満足度		学習時間 <sup>2</sup>	
	平均	中央値	平均	中央値	平均	中央値	平均	中央値	平均	中央値	平均	中央値
2021前	37.79	15.0	0.783	0.830	4.14	4.14	3.75	3.77	4.19	4.21	42.11	38.26
2021後	37.21	13.0	0.758	0.786	4.17	4.16	3.78	3.79	4.19	4.18	48.06	43.88

- ・ 1科目あたりに履修者は、前期より若干低下しているが、ほぼ変化はない。
- ・ 回答率は、前期より若干低下しているが、ほぼ変化はない。
- ・ 興味関心、難易度、満足度には、大きな変化はない。
- ・ 学習時間は、約6分（14%）増加している。

### 5. 授業満足度との相関性

授業満足度と各項目との相関について、①全科目、②ゼミ＋卒業論文について相関行列を用いて分析した。その結果は下記の図表2,3の通りである。

---

<sup>2</sup> 学習時間はQ8(あなたは、この授業1回あたり、予習・復習にどのくらい時間をとりましたか(180分以上~0分) <30分刻み>)の値を用いている。これを8段階に分類し、180分以上:180、150分以上~180分未満:95、120分以上~150分未満:135、90分以上~120分未満:105、60分以上~90分未満:75、30分以上~60分未満:45、30分未満:15、0分:0として平均を計算したものをを用いている。

図表 2 全科目の相関行列

		Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	num	semi
Q2	興味関心	1.000										
Q3	難易度	.224 **	1.000									
Q4	指示の適切性	.656 **	.228 **	1.000								
Q5	双方向性	.606 **	.232 **	.715 **	1.000							
Q6	わかりやすさ	.625 **	.170 **	.683 **	.656 **	1.000						
Q7	課題分量	-.023 *	.283 **	-.020 +	.024 *	.001	1.000					
Q8	予習・復習	.134 **	.195 **	.089 **	.088 **	.104 **	.183 **	1.000				
Q9	課題時間	.104 **	.169 **	.085 **	.101 **	.092 **	.225 **	.735 **	1.000			
Q10	満足度	.688 **	.121 **	.670 **	.628 **	.664 **	-.083 **	.088 **	.070 **	1.000		
num	受講者数	.011	-.016	-.019 +	-.105 **	.032 **	-.030 **	.044 **	-.015	-.015	1.000	
semi	ゼミダミー	.072 **	.009	.092 **	.173 **	.089 **	.043 **	.055 **	.173 **	.111 **	-.366 **	1.000
		** $p < .01$ , * $p < .05$ , + $p < .10$										

● 全科目分析結果

- ・ 授業満足度との相関は強い順に、興味関心、指示の適切性、わかりやすさ、双方向性、であり、いずれも 0.6 以上の中程度の正の相関があった。
- ・ 難易度と授業満足度の間に相関があるとはいえない。
- ・ 課題分量と授業満足度の間に相関があるとはいえない。

図表 3 ゼミ + 卒業論文の相関行列

		Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	num
Q2	興味関心	1.000									
Q3	難易度	.232 **	1.000								
Q4	指示の適切性	.617 **	.241 **	1.000							
Q5	双方向性	.593 **	.213 **	.688 **	1.000						
Q6	わかりやすさ	.615 **	.183 **	.689 **	.669 **	1.000					
Q7	課題分量	-.039	.274 **	.003	.032	-.017	1.000				
Q8	予習・復習	.153 **	.216 **	.045	.072 *	.076 *	.140 **	1.000			
Q9	課題時間	.086 **	.150 **	.048	.086 **	.018	.147 **	.655 **	1.000		
Q10	満足度	.703 **	.160 **	.642 **	.641 **	.677 **	-.078 *	.080 *	.022	1.000	
num	受講者数	-.050	-.098 **	-.011	-.048	-.002	.015	-.111 **	-.006	-.021	1.000
		** $p < .01$ , * $p < .05$ , + $p < .10$									

● ゼミ科目分析結果

- ・ 興味関心は、授業満足度と.70 の強い相関があり、全科目と比べても強い相関であった。
- ・ その他の項目としては、わかりやすさ、指示の適切性、双方向性、の順で授業満足度と相関があり、いずれも 0.6 以上の中程度の正の相関 であった。
- ・ 難易度と授業満足度の間に相関があるとはいえない。
- ・ 課題分量と授業満足度の間に相関があるとはいえない。

以上